

# 週間漁海況情報 2026年第8号

令和8年2月24日発行

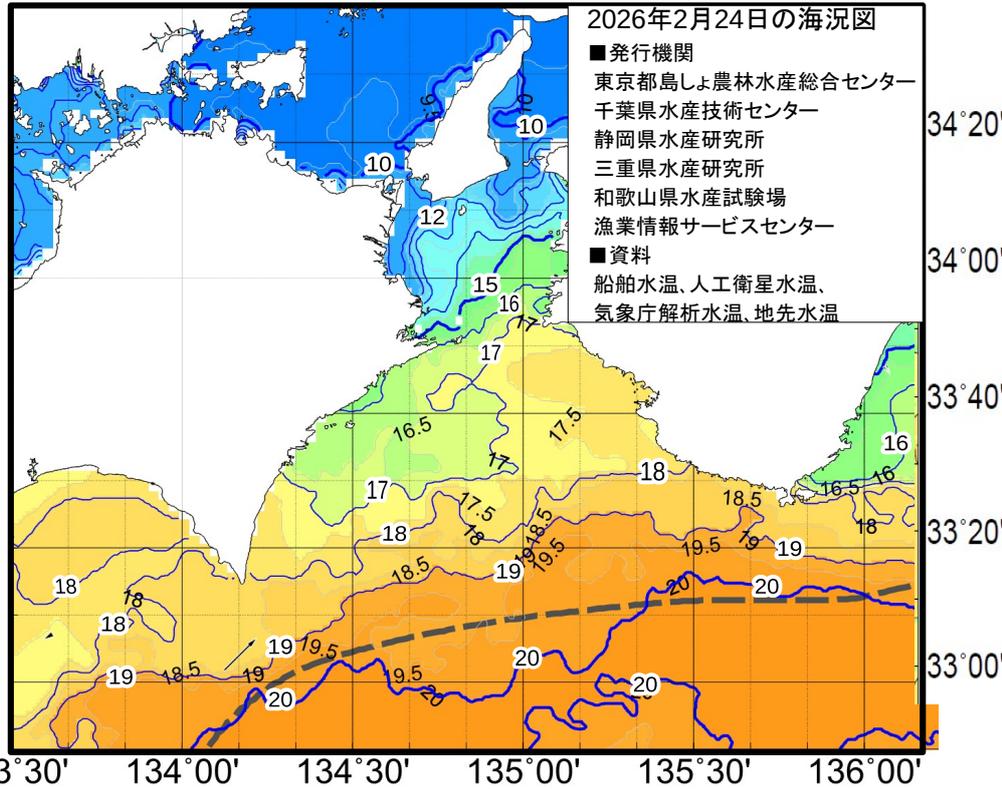
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖35マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は19～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9～10、紀伊水道で10～15、海部沿岸で15～17℃台となっている。



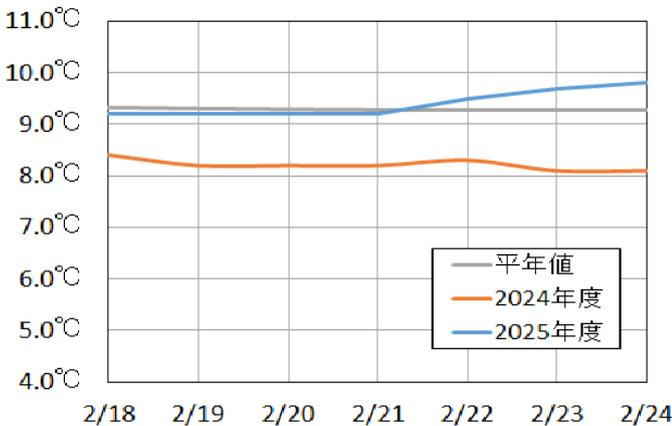
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)  
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~  
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~  
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

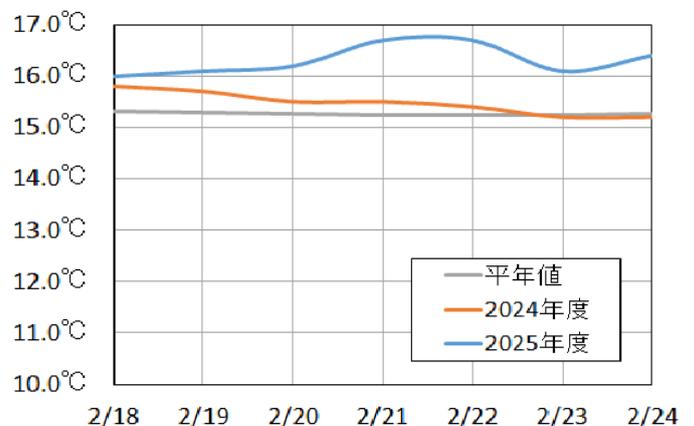
### 2. 地先水温(2月18日~2月24日)

鳴門地区の水温は、9.2~9.8℃で「平年並み」で推移。浅川地区は、16.0~16.7℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、6.4~7.5℃だった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(2月25日~3月3日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、浅川地区で「やや高め」で推移する見込み。

**漁況** (2月16日～2月22日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

釣りでは、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.3トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.4トン、ブリがめじろ級主体に0.3トン水揚げされた。

底びき網では、いとより類が減って0.7トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って0.4トン、ヒラメが大主体に0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、アオリイカが増えて0.6トン水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて大主体に5トン、マルソウダが大きく増えて1.2トン、

ウルメイワシが大きく増えて小主体に1トン、マルアジが大きく増えて小小主体に0.6トン、

マアジが減って小あじ主体に0.3トン水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	11	ブリ	301	27	めじろ級主体	↗↗
	延縄	47	あまだい類	362	8		↘
		23	ブリ	338	15	めじろ級主体	→
	底びき網	15	いとより類	665	44		↘
	小型定置網	11	マアジ	382	35		↘↘
		12	ヒラメ	339	28	大主体	→
海部沿岸	小型定置網	34	アオリイカ	598	18		↗
	大型定置網	6	ブリ	5,038	840	大主体	↗↗
		6	マルソウダ	1,170	195		↗↗
		6	ウルメイワシ	1,045	174	小主体	↗↗
		6	マルアジ	620	103	小小主体	↗↗
		6	マアジ	338	56	小あじ主体	↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘